

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	三浦しらとり園		
所在地	横須賀市長沢4-13-1		
サイトURL	http://www.kanagawa-id.org/seiwa/shisetu/shiratori/		
根拠条例	神奈川県立の知的障害児及び障害者支援複合施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設及び児童福祉法第42条第1項規定する福祉型障害児入所施設		
指定管理者名	社会福祉法人清和会		
指定期間	H23. 4. 1～H33. 3. 31	施設所管課	障害サービス課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p><管理運営等の状況> 短期入所の延べ日数は昨年度の2,553日に比べ、今年度は3,178日と約25%の増加で、横須賀、三浦圏域での在宅支援の拠点的な役割を果たしていると評価できる。26年4月より自主事業である相談支援事業所を立ち上げ、計画相談支援及び障害児相談支援を実施した。26年度末で契約者数は82名となっている。</p> <p><利用状況> 障害児9名の入所（いずれも措置入所）や4カ所の児童相談所からの緊急一時保護の要請のため8名の児童を延べ169日間受け入れた。また民間障害者支援施設の改築にあたり、行動障害のある男性利用者を約2ヶ月間、居室を改修する等工夫し、短期利用で受け入れた。</p> <p><利用者の満足度> 家族に対し、利用者支援に関するアンケートを実施した。様々な意見が寄せられたが、概ね満足との評価を得ている。</p> <p><収支状況> 収支のバランスは良好である。26年度より相談支援事業を開始、自主事業収入を得ている。</p> <p><苦情・要望等> 利用者家族より指摘を受けた際は、その都度、真摯に受け止め、適切に対応し、解決を図っている。</p> <p><事故・不祥事等> 打撲や骨折、裂傷などの外傷が増えてきている。骨折の原因は転倒によるものが多く、見守りの強化や床を柔らかな素材に張り替える等の対応を行っている。</p> <p><今後の方針等> 充実した医療体制、受け入れ困難な障害児者の受け入れ、地域移行への取組みを引き続き担ってもらいたい。</p>
S：極めて良好な管理運営状況 A：良好な管理運営状況 B：一部改善が必要な管理運営状況 C：抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
随時モニタリング 指導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
職員配置、経費削減等の観点からの効率的な施設運営	引き続き給食調理部門、洗濯部門を委託方式として運営を行う。新規採用職員17名を配置、3月の時点から研修を行い、寮職員に必要な技術習得を目指した。	
利用者サービスの向上への取り組み	身体拘束ゼロに向けた取り組みを継続し、25年4月から26年度末までに15名の利用者の身体拘束が解除された。	
診療所の医療水準の維持	診療所業務を社会福祉法人湘南福祉協会（湘南病院）に業務委託、医療水準維持確保に向け、取り組んでいる。内科検診、歯科検診、尿検診、耳鼻科検診等を実施し、健康管理を支えている。	
施設の生活水準の改善	27年3月に居住棟屋上の防水工事が完了。居住性の向上やプライバシーの確保の観点から、2部屋について大規模な改修を行った。	
地域との連携体制を構築するため、利用者の地域移行を図る。	児童課利用者が初めて法人のグループホームに移行することができた。	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
相談支援事業を平成26年4月1日から実施	平成26年4月1日より事業を実施 特定相談支援事業は年間78名の計画作成、障害児相談事業は年間2名の計画作成を行った。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	〔参考〕直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	43,891	42,611	41,084	41,271
対前年度比			96.4%	100.5%
目標値	〔目標値設定根拠〕			
目標達成率				

〔 参考：最大利用可能人数 〕

	施設入所(成人)	施設入所(児童)	生活介護	自立訓練		合計
定員	88	40	95	40		
年間利用可能日数	365	365	365	244		
最大人数※1	32,120	14,600	34,675	9,760	0	91,155
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由 _____

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
—	※重度の知的障害のため、4段階評価による満足度の評価は困難である。

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易調査、定期調査の実施	定期的にオンブズパーソンが来園し、利用者との意見交換を行った。利用者家族に対し、満足度調査を実施。概ね満足との評価を得ている。

実施した調査の配付方法 利用者へ直接配布 回収数/配付数 _____ / _____ = _____

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数						
回答率						
前年度の回答数						
回答率の対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
	口頭	2 件		
施設・設備		件	①トイレの改修を要望 ②雨水の排水溝からの騒音	①理事長、施設長と協議し、設置する方向で調整することとなる。 ②業者に防音工事を依頼。
		件		
職員対応	手紙	1 件	①カーテンが死角となり、居室に障害児がいるにも関わらず、居室を施錠してしまった。 (他利用者が居室に入らないようするため) 家族にその旨報告したところ「施錠の理由について」説明を求められる。	①翌日両親が来園した際に今後は在室かどうか確認する旨職員より説明し、謝罪する。
		件		
事業内容	電話	1 件	①横須賀市指導監査課より「園の歯科の予約が取りづらくなったと某事業所より電話があったが実際はどうなのか？」との連絡あり。	①県の障害歯科診療体制における横須賀市の2次歯科診療と3次歯科診療について出向いて説明、優先事項について説明する。
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
平成26年 10月22日	右手薬指の腫れを確認、レントゲン検査の結果、「右手薬指末節骨折」と診断される。	骨折の原因は不明	①本人の小さな変化を見落とさないこと、必ず小さなことも引き継ぐ支援を徹底する。同時に本人居室環境でクッションを敷いていない箇所等改良する。
平成26年 12月17日	ガラス窓を強く押した際にガラスが割れ、右手首に長さ3cm深さ0.5cm程の裂傷ができる。	ハード面の問題	①ガラス窓を割れない材質にするなど浴室脱衣所の環境整備の改善を図る。
平成27年 3月8日	切り傷にて救急医療センターへ通院、ステープラーで5針縫合処置。	バランスを崩しベッドから転落したことが想定される。	①ベッドの両サイドのマットを敷く。スチール製の角をパット等で保護する。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。